

1
28.10.141800c
南スーダン派遣施設隊

南スーダン派遣施設隊 日々報告

第1734号

閲覧は関係者限定

用済み後破棄

報告項目

1 本文（要約）

- (1) 情 勢
- (2) 本日の活動成果
- (3) 明日の活動予定

2 別紙類（細部活動状況）

- (1) 本日の成果
活動概要
- (2) 明日の活動
 - ア 活動に及ぼす影響
 - (ア) 情 勢
 - (イ) 基盤上（兵站・衛生・人事）
 - (ウ) 総括（評価）
 - イ 活動命令
 - (ア) 施設活動等実施に関する行動命令
（方針・指導要領・各部隊の任務）
 - (イ) 視察・来隊予定
 - (ウ) 隊長・副隊長・CSMの行動予定

3 じ後の予定

4 情報共有事項

5 参考資料

- (1) 気 象
- (2) 暫定政府樹立までの主要結節
- (3) 予想シナリオ（状況推移）と
日本隊に及ぼす影響
- (4) 部隊配置状況
- (5) タスク現況
- (6) 警備の態勢

1 本文（要約）

1 情 勢

凡例 赤字：変化事項

(1) 全 域

ア 和平合意関連

和平合意は、JMECによるワークショップや、キール大統領が9月30日に地域保護部隊に関する国連への協力を再度示したことから、今後進展があるものと思料

一方、南スーダン国内外において両勢力の内部分裂又は離反・統合の動きが確認されるとともに、マシャル第1副大統領派がキール政権に対する抵抗を示したことから、SPLA-iO指導部の分裂、SPLAに統合されていたSPLA-iOの一部離反、国内外へのマシャル氏の影響力の趨勢について注視が必要

北部、西部及び南部においてSPLAとマシャル派SPLA-iOの小規模な戦闘が発生、特に、南部地方においては、ジュバクライシス以降、SPLAとマシャル派SPLA-iO等との間での戦闘が継続しており、**多数の避難民が発生し近隣の村等に避難していることから**報復及び治安の悪化は継続するものと思料され、不安定な状態が継続

イ その他の情報資料

キール大統領は地域保護部隊の展開に前向きな姿勢を見せ始めているものの、市民団体が地域保護部隊の派遣に関して反対を表明しており、対UN感情の変化には注視が必要

また、**マシャル氏が南アフリカへと移動するとともに、南アフリカ政府も和平合意への関与を示している模様であり、今後の政府間の動向にも注視が必要（併せて、プロパガンダにも注意）**

(2) ジュバ市外

ジュバ市内の戦闘は停戦合意により一応の収束をみせてはいるものの、ジュバ郊外、特に、イエイ及びカジョケジでの小規模なSPLAとマシャル派SPLA-iOの戦闘及び東エクアトリアー帯での武装集団による車両への襲撃事案が継続、また、

_____しており、郊外への移動には危険が伴う可能性

加えて、マシャル氏のキール政権への抵抗宣言との関連性は確認できないものの、_____が発生するとともに、**中央エクアトリアの反ディンカ族感情が増大しており、事象の拡大には注視が必要**

(3) ジュバ市内

市内は平穏な状態に戻りつつあるものの、経済は低迷（闇での換金：1\$=75SSP）し犯罪等が発生しやすい状態であり、夜間の治安機関によるパトロールが強盗、不審者等へ警告射撃等を実施しており、夜間は流れ弾が発生しやすい状態が継続

また、南スーダン政府は安保理決議の受入を原則的に表明しているものの、引き続きS O F A違反の発生状況に注視

では、常統的に射撃が確認されており、
逐次進展が見られるものの、

不安定な状態にあり引き続き些細な変化に注意が必要
また、キール大統領の死亡説やマロン参謀総長の解任説が流れる等、市民の不安が煽られるような噂が流れており、大統領の顕在とマロン参謀総長との同伴も視認されているものの、市民感情の変化には注意が必要（流布源は不明であるが、一時的に市内の一部が緊張状態になったことから、今後の政府の動向に注意）

(4) ウガンダ

2016年2月の大統領選及び5月の野党党首の収監以降は、大規模な暴動等は首都カンパラにおいては確認されていないものの、7月中旬の野党党首の出所以降、野党党首支持者と警察との間で小規模な衝突が首都カンパラにおいても発生しており、集会等の実施場所周辺では注意が必要

また、治安はアフリカの中では比較的良いものの、強盗、窃盗等の一般犯罪の発生が確認されており、夜間の単独外出や昼間でもスラム等への立ち入りは危険を伴う

(5) 活動に及ぼす影響

宿営地においては、夜間の周辺での射撃による流れ弾には注意が必要

また、ジュバ市内においてはハラスメント及びS P L Aによる検問周辺での流れ弾、交通事故への巻き込まれには注意が必要

なお、UNハウス周辺においては射撃及び銃を携行し徒歩で移動するS P L A兵士が確認されていることから近傍での活動には警戒が必要

3 本日の活動成果

(1) 方針

隊は、急な情勢変化に対応しつつ、文民保護に資する活動としてUNトンピン地区内給水活動を実施するとともに、人道支援実施のための環境作りとして、UNハウス地区西側外壁構築、弾薬庫増設及びUNトンピン地区英軍LOプレハブ構築、排水整備、道路補修を実施する。併せてルワンダ航空隊部隊研修を実施する。

この際、ジュバ市内におけるハラスメント及びジュバ西部・南部の戦闘に注視するとともに、UNハウス地区活動における流れ弾に留意して活動を実施する。

(2) 指導要領

ア 文民保護に資する活動

給水活動

本部付隊をもって、UNトンピン地区における給水活動（成果：10t）

イ 人道支援実施のための環境作り等

(ア) 施設活動

a 英軍LOプレハブ構築

第1施設小隊をもって、UNトンピン地区におけるプレハブ構築

b UNハウス地区西側外壁構築

第2施設小隊をもって、UNハウス地区における西側外壁構築

c UNハウス地区弾薬庫増設

第3施設小隊をもって、UNハウス地区における弾薬庫増設

d UNトンピン地区道路補修

施設器材小隊をもって、UNトンピン地区における道路整備

e UNトンピン地区排水整備

施設器材小隊をもって、UNトンピン地区における排水整備

- (イ) インフラ整備
なし
- ウ その他の活動
 - (ア) 情報活動
 - a 情報班をもって、UNトンピン地区における情報収集活動
 - b 隊本部をもって、ジュバ市内における経路偵察
 - (イ) 業務調整
隊本部をもって、UNトンピン地区、UNハウス地区及びジュバ市内における業務調整
 - (ウ) 宿营地内活動
 - a 第1施設小隊をもって、宿营地内における側溝整備
 - b 本部付隊をもって、宿营地管理業務
 - (エ) 教育訓練等
なし
 - (オ) 民生協力
なし
 - (カ) 衛生班による、UNトンピン地区内カンボジア病院における医療廃棄物の処理
 - (キ) 衛生班による、UNトンピン地区内カンボジア病院への歯科受診者の送迎
 - (ク) 隊本部による、UNトンピン地区名インゲートにおける業者送迎
 - (ケ) 隊本部による、ジュバ市内における現地調達
 - (コ) 隊本部による、ジュバ市内行における銀行会計業務実施予定のところ、未実施
 - (サ) 隊本部等による、UNトンピン地区内ルワンダ航空隊宿营地における部隊研修
- エ 表敬等
なし
- オ 各種行事
なし
- カ 国際機関等連携案件
なし

3 明日の活動予定

(1) 方針

隊は、急な情勢変化に対応しつつ、文民保護に資する活動としてUNトンピン地区内給水活動を実施するとともに、各種整備を実施し、装備品等の可動率の維持・向上を図る。
また、孤児院の慰問を実施し、南スーダンの将来を担う子供達の成長を支援して、南スーダンの平和と発展に寄与するとともに、日本国への信頼を醸成する。

(2) 指導要領

ア 文民保護に資する活動

給水活動

本部付隊をもって、UNトンピン地区における給水活動

イ 人道支援実施のための環境作り等

(ア) 施設活動

なし

(イ) インフラ整備

なし

ウ その他の活動

(ア) 情報活動

a 情報班をもって、UNトンピン地区及びジュバ市内における情報収集活動

b 隊本部をもって、ジュバ市内における経路偵察

(イ) 業務調整

なし

(ウ) 宿営地内活動

a 本部付隊をもって、宿営地管理業務

b 各部隊毎、宿営地内における施設、車両、器材等整備

- (I) 教育訓練等
隊本部等による、国連休暇取得者に対する国連休暇前教育
- (オ) 民生協力
隊による、ジュバ市内孤児院における孤児院慰問
- (カ) 隊本部による、ジュバ市内における現地調達及び銀行会計業務
- エ 表敬等
な し
- オ 各種行事
な し
- カ 国際機関等連携案件
な し

1 本日の成果

別紙第1「活動概要」

別紙第2「活動成果」

活動概要（UNトンピン地区）（1／7）

番号	区分	任務	部隊	時間	場所	人員	車両	警備
①	施設	UNトンピン地区排水整備	器材小隊	0800～ 1600	UNスタンド南側	7	小型×1、油圧×1 特大型×2	
②		UNトンピン地区道路補修	器材小隊	0800～ 1600	UNトンピン内	8	小型×1、グレーダ×2 ロードローラ×1 散水車×1	
③		英軍LOプレハブ構築	1小隊	0800～ 1600	エチオピア 歩兵大隊北側	27	高機×2、大型×2 道路障害車×1	
④	その他	給 水	補給班	0800～ 1000	トランジット エチオピア歩兵大隊	2	給水車×1	
⑤	その他	給 水	補給班	1000～ 1200	ネパールFPU	2	給水車×1	
⑥		ルワンダ航空隊研修	隊本部 警備小隊 器材小隊 警護班	0830～ 1200	ルワンダ航空隊			
⑦		医療廃棄物処理 歯科受診	衛生班 器材小隊	0950～ 1200	カンボジア病院	3	Amb×1	
⑧		業者迎え	隊本部 (S-4)	0830～ 1600	メインゲート	3	小型×1	
⑨		業務調整（施設）	隊本部 (S-3)	0800～ 1600	工兵課	4	小型×1	
⑩		業務調整（輸送）	隊本部 (S-4)	0900～ 1630	MOVCON	3	小型×1	
⑪		広報活動	隊本部 (広報)	0800～ 1700	UNトンピン内	2	小型×1	
⑫		情報収集	情報班		UNトンピン内			
⑬	施設	宿営地整備（側溝整備）	1小隊	0800～ 1600	宿営地	3		

活動概要（UNトンピン地区）（2／7）



	広報活動
	情報収集

活動概要（UNハウス）（3／7）

番号	区分	任務	部隊	時間	場所	人員	車両	警備
①	施設	UNハウス地区西側外壁構築	2小隊	0732～ 1630	UNハウス西側	21	高機×3、大型×2 ※ 水、食糧1日分携行 ※ハウス1530前進開始	
②		UNハウス地区弾薬庫増設	3小隊	0733～ 1630	弾薬庫	16	高機×2、大型×2 特大型×1 ※ 水、食糧1日分携行 ※ハウス1530前進開始	
③	その他	業務調整（施設）	隊本部 (S-3) (教訓)	0734～ 1630	工兵課	4	高機×1	
④		広報活動	隊本部 (広報)	0734～ 1630	UNハウス	2	高機×1	

活動概要（UNハウス）（4／7）



活動概要（ジュバ市内）（5／7）

番号	区分	任務	部隊	時間	場所	人員	車両	警備
①	情報	経路偵察	隊本部 (S-2)		ジュバ市内			
②	その他	銀行業務（会計） （未実施）	隊本部 (S-4)	1000～ 1300	ジュバ市内	3	高機×1	
③		業務調整（補給）	隊本部 (S-4)	1330～ 1600	ジュバ市内	2	高機×1	
④		業務調整（施設器材）	隊本部 (S-4)	1000～ 1300	ジュバ市内	3	ランクル×1	
⑤		重車両輸送支援	警務班	0728～ 1100	ジュバ市内	2	高機×1	

活動概要（ジュバ市内）（6／7）

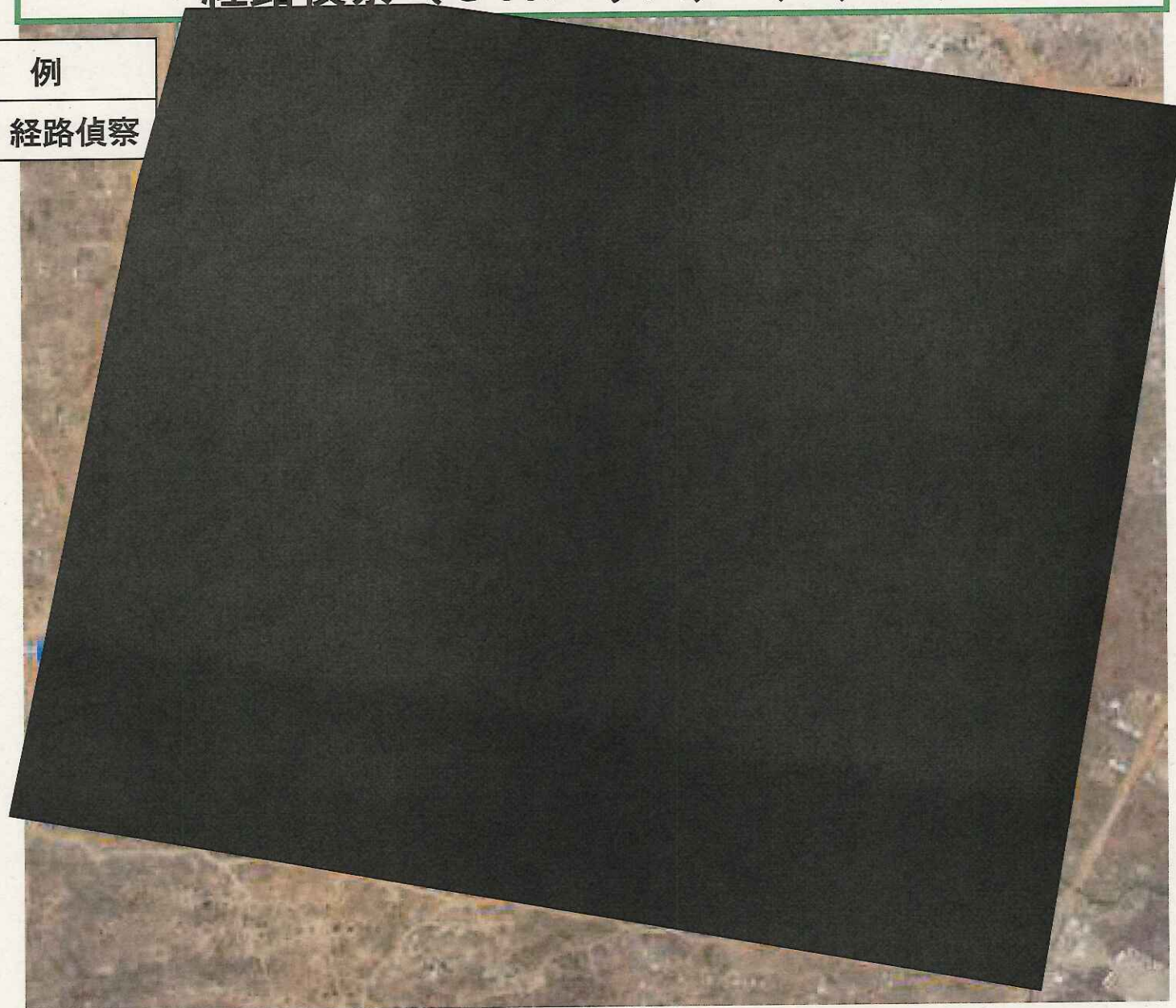


経路偵察（UNハウス）（7/7）

凡 例



経路偵察



本日の活動成果

UNTンピン地区内道路整備

活動前
施設器材小隊【10.14 0900現在】



活動中
施設器材小隊【10.14 1130現在】



活動成果

進捗
累計



道路整形及び転圧

本日の活動成果

UNトンピン地区排水整備

活動前
施設器材小隊【10.14 0900現在】



活動中
施設器材小隊【10.14 1130現在】



活動成果

進捗：実施 100% / 計画 100%
累計：実施 100% / 計画 100%

側溝内整形及び堆積土除去

本日の活動成果

英軍LOプレハブ構築

活動前
第1施設小隊【10.14 0900現在】



活動中
第1施設小隊【10.14 1200現在】



活動成果

進度
累計



- 1 壁張り
- 2 付帯設備

本日の活動成果

UNハウス地区西側外壁構築

活動前
第2施設小隊【10.14 0900現在】



活動後
第2施設小隊【10.14 1300現在】



活動成果

進度
累計



- ・ 整地作業
- ・ ミフレーム組立設置及び土入れ
- ・ 測量経始

本日の活動成果

UNハウス地区弾薬庫増設

活動前
第3施設小隊【10.14 0900現在】



活動後
第3施設小隊【10.14 1400現在】



活動成果

進捗
累計



- ・ヘスコ土入れ
- ・型枠設置

2 明日の活動

- (1) 活動に及ぼす影響
 - 別紙第3 「情 勢」
 - 別紙第4 「装備品等現況」
 - 別紙第5 「患者受診状況」
 - 別紙第6 「人員現況」
 - 別紙第7 「総括（評価）」
- (2) 活動命令
 - 別紙第8 「施設活動等実施に関する行動命令」
 - 別紙第9 「視察・来隊予定」
 - 別紙第10 「隊長・副隊長・CSMの行動予定」

情 勢 (1 / 8) / Situation

23

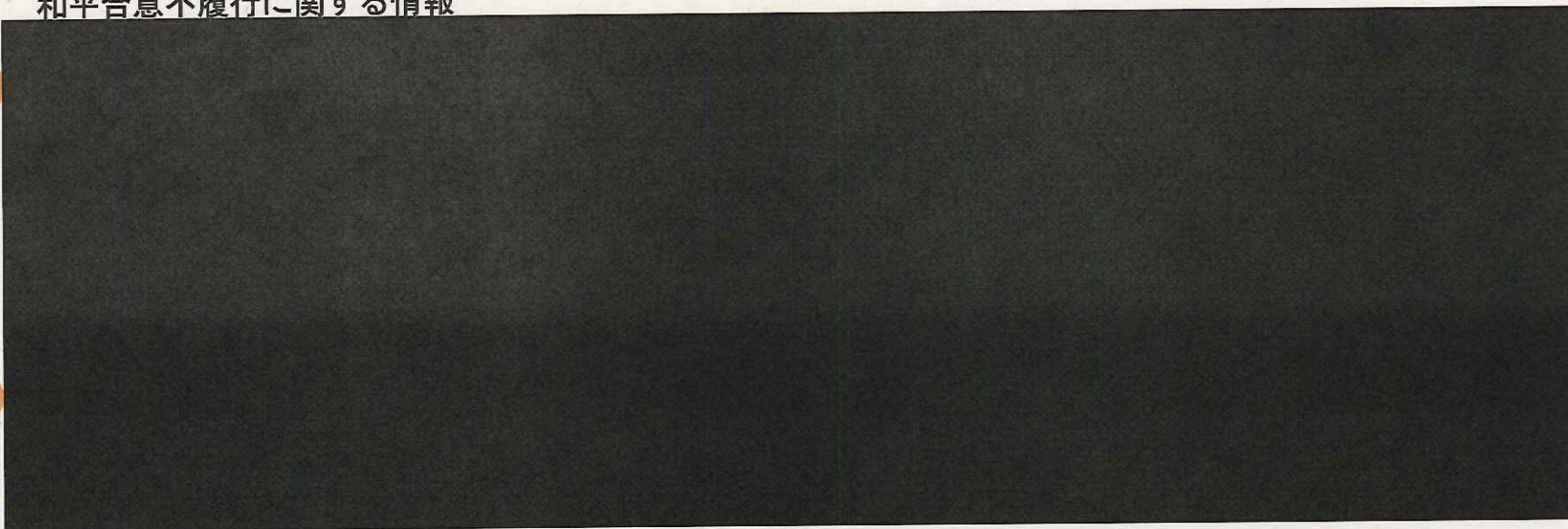
別紙第3-1

凡例 青字：新規
赤字：評価

- 1 南スーダン全域の情勢
- (1) 和平合意履行に関する情報
新規追加事象なし
- (2) 和平合意不履行に関する情報

1

2



凡例 青字：新規
赤字：評価

(3) その他入手した主要な情報資料

■ 12日、ハルツーム空港において、マシャル氏が記者会見を実施。「マシャル派SPLM-iOは7月の事案以降、和平合意及び暫定政府の両方が崩壊したと考えており、キール大統領を権力の座から追放するための抵抗運動を組織する。しかしながら、政治的解決がSPLM-iOの第1選択肢である。」と発言

(14日 SudanTribune “SPLM-io blames international community for allowing peace violence”)

→ 政治的解決策を模索していることから、対話の余地は残されているものと思料

■ ソーシャルメディアやオンラインの主要メディアが大統領の健康状態について虚偽の情報を流布する状況が継続した場合、政府はインターネットの遮断を余儀なくされるであろう。

(13日 SudanTribune “S.S threatens internet shutdown over kiir’ s health rumor”)

→ VIVACELやZAINの使用が中断され、政府による情報統制が敷かれる可能性あり、その場合は、南スーダン国内での隊の保有する通信（現地携帯等）にも影響を及ぼすものと思料

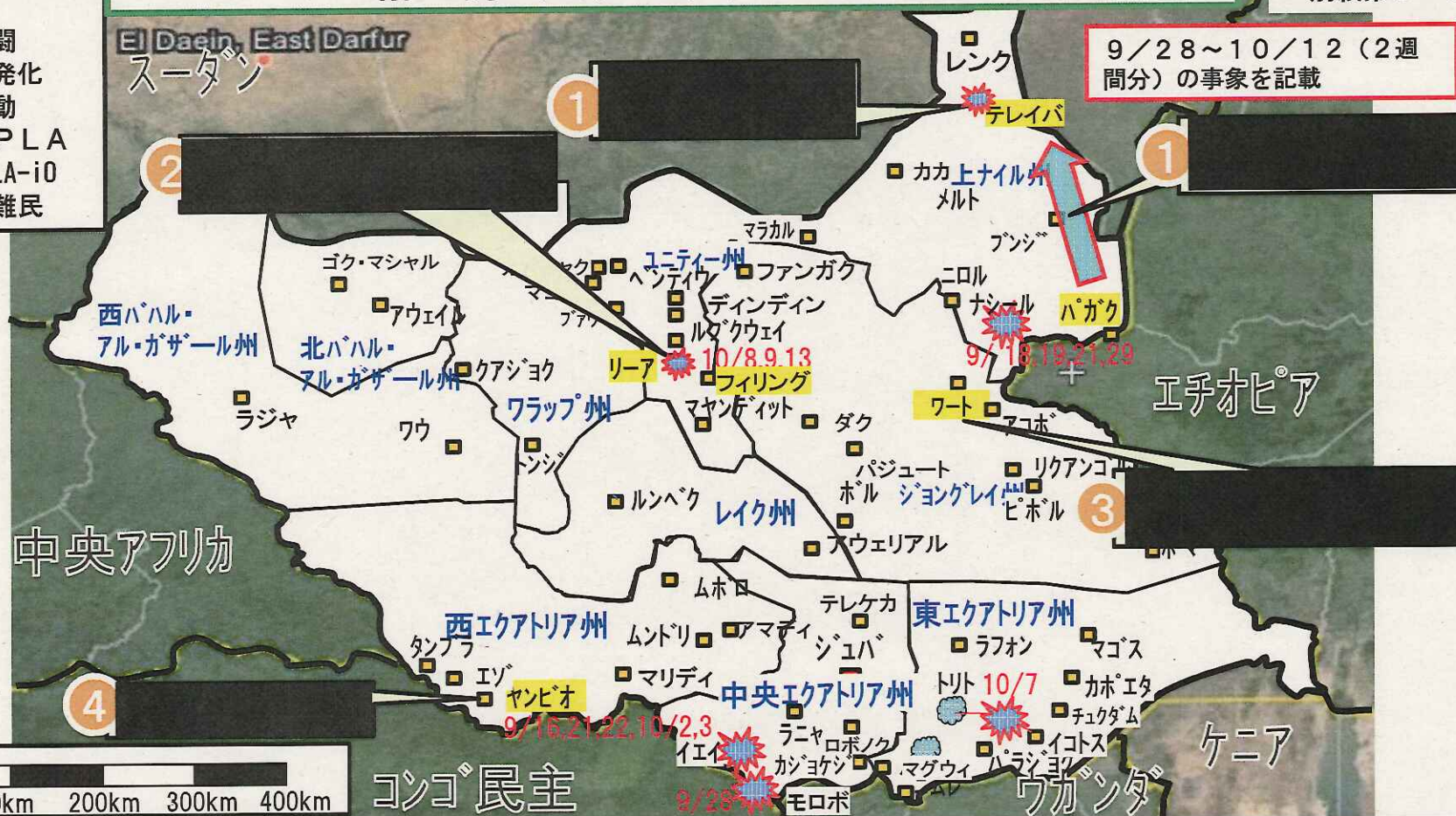
3

4

情 勢 (3/8) / Situation

凡 例

-  : 戦闘
-  : 活発化
-  : 移動
- 青 : SPLA
- 赤 : SPLA-iO
- 黒 : 避難民



100km 200km 300km 400km

評 価

和平合意

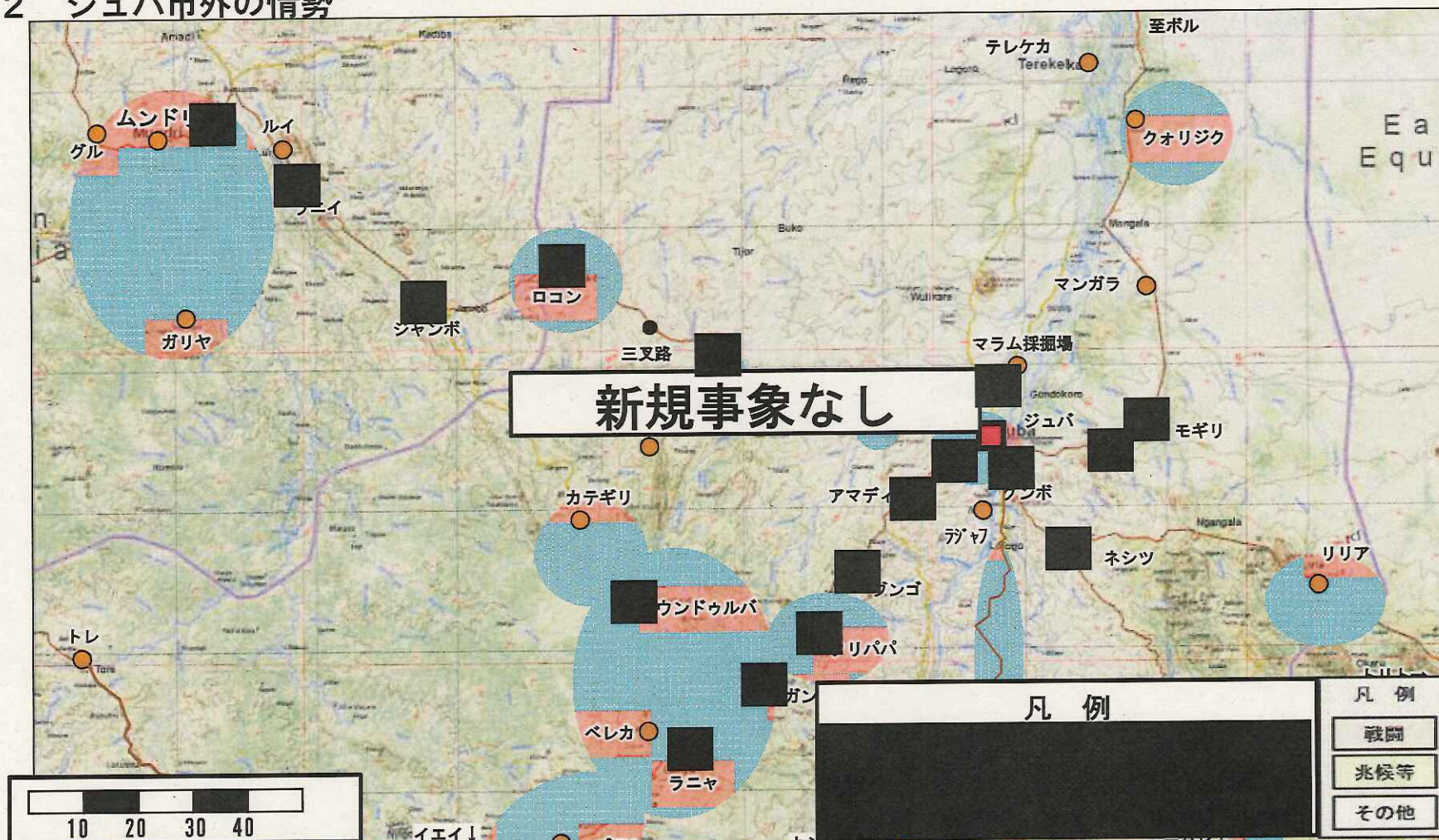
和平合意については、JMECによるワークショップが終了し、治安措置等について協議を行い、南スーダン政府は安保理決議において指示された全ての要求に取り組むことに合意し、JVMMも地域保護部隊の展開へ前向きな姿勢を示していることから、今後も逐次、協議が開催されるものと思料

北部、南部及び西部において、SPLAとマシアル派SPLA-iOとの小規模な戦闘が継続しており、マシアル前第1副大統領のキール政権打倒のための武力抵抗の実施に関する発言に伴う、戦闘の拡大には注視が必要。また、南部では民間車両に対する襲撃が継続しており、ジュバ方向への物流に影響を及ぼす可能性があるため、注視が必要

その他の事象

南部国境においては、難民が引き続き隣国へと流入するとともに、北部において国連による人道状況の調査も実施されていることから、文民保護に関するマンデートは今後も継続するものと思料。また、国連による10月中旬に予定される追加措置を前に、地域保護部隊に関する南スーダン政府側の対応に変化があり、これに伴う対UNMISS感情の変化には注視が必要

2 ジュバ市外の情勢



評 価

ジュバ西部は一定の落ち着きを取り戻している模様、しかしながら郊外、[REDACTED]ことから情報は限定的だが、避難民のコンゴ民主共和国への流入等から周辺における戦闘は継続しているものと思料され、戦闘のジュバ方向への拡大及び物流への影響には注視が必要

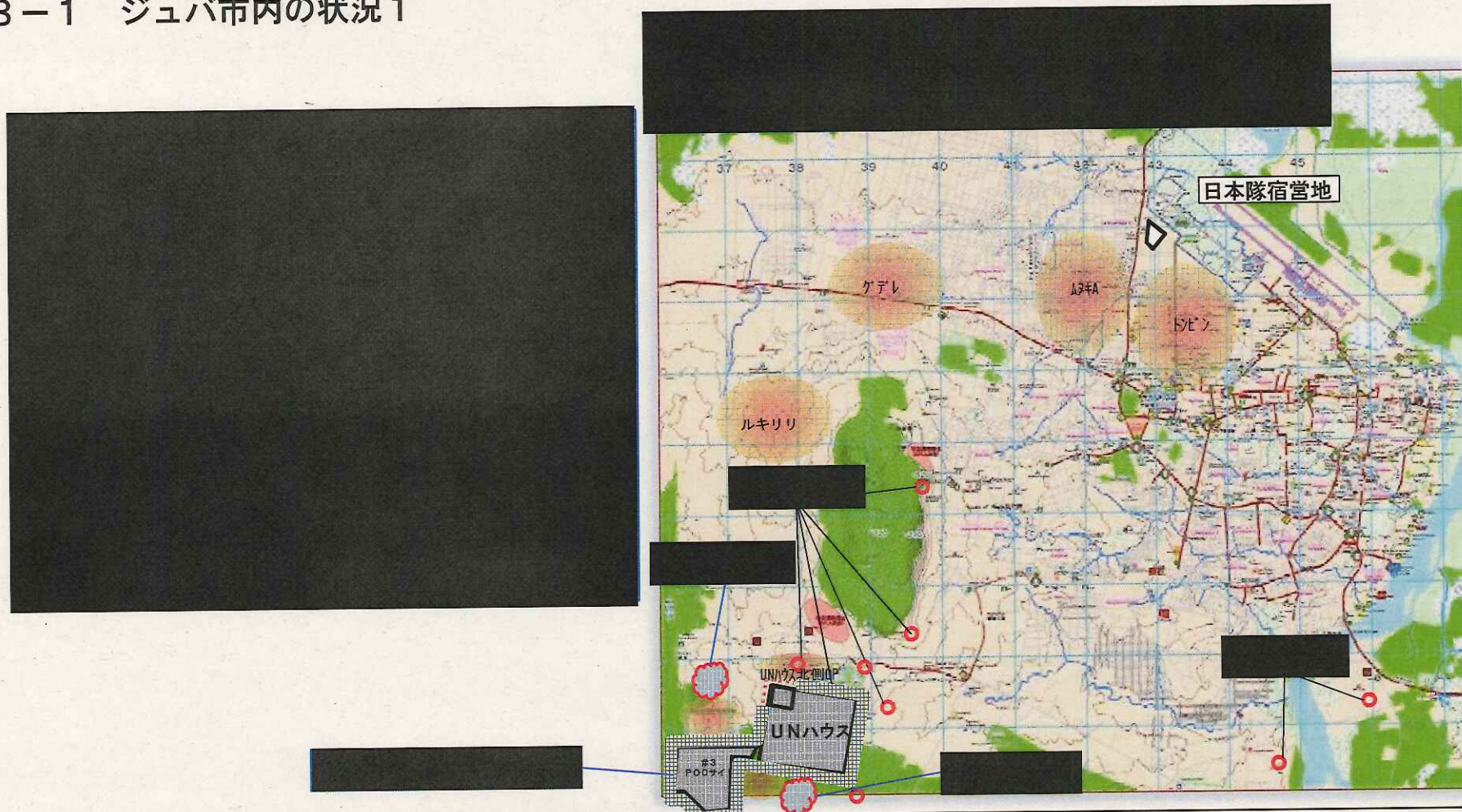
3-1 ジュバ市内の状況 1



評 価

ジュバ市内は、噂の払拭のためのパレードが実施されたことで一定の安定を取り戻すものと思われるが、各種離反に関する報道、イエイ道正面の戦闘等から市民感情は敏感になっており、引き続き注視が必要。また、[redacted]では、常続的な射撃や、[redacted]が確認されており、非武装地域の設定合意に基づく作業が開始されたものの、各種活動時にはハラスメント、流れ弾及び巻き込まれに引き続き注意が必要

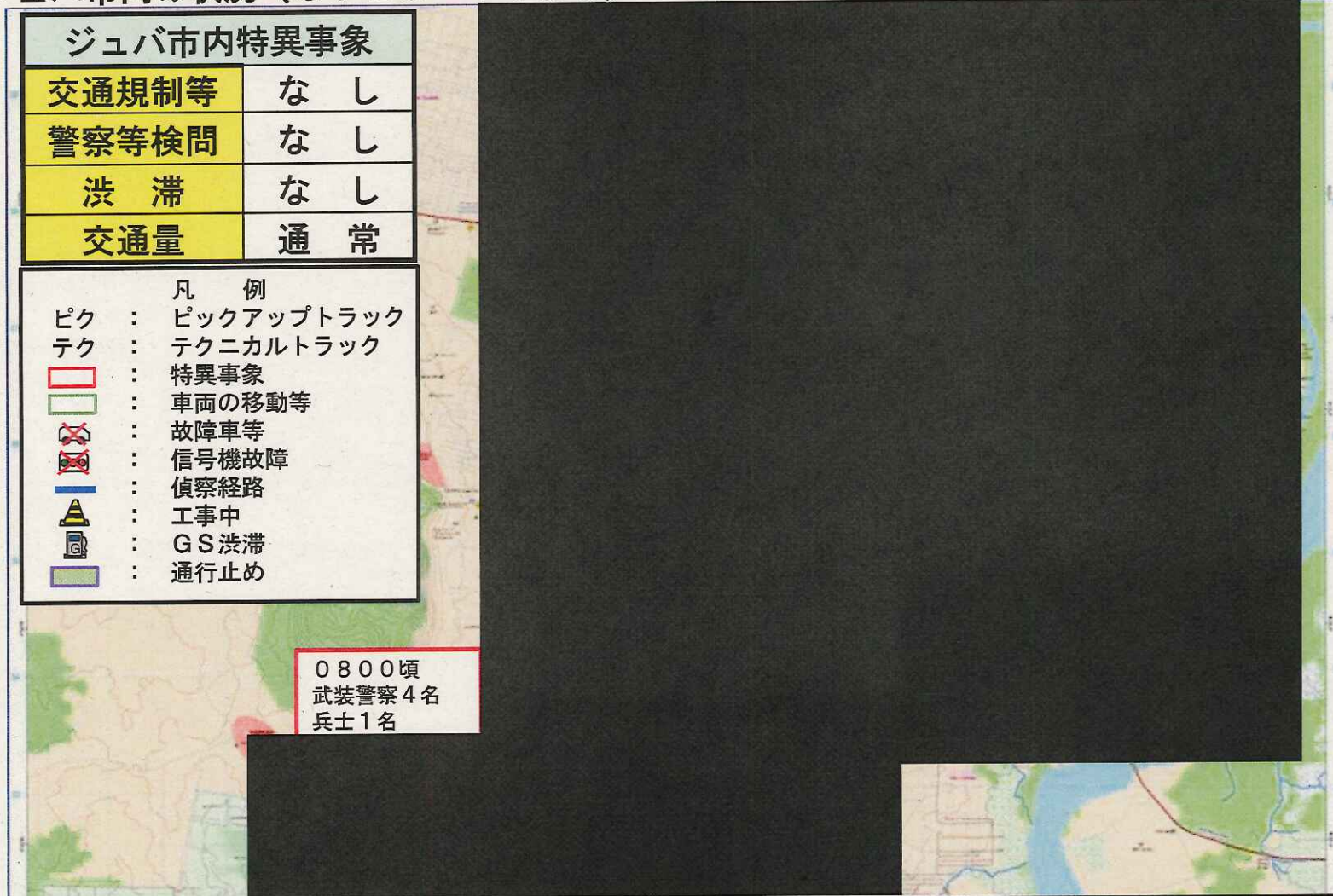
3-1 ジュバ市内の状況 1



評 価

ジュバ市内は、噂の払拭のためのパレードが実施されたことで一定の安定を取り戻すものと思われるが、各種離反に関する報道、イエイ道正面の戦闘等から市民感情は敏感になっており、引き続き注視が必要。また、[redacted]では、常続的な射撃や、[redacted]が確認されており、非武装地域の設定合意に基づく作業が開始されたものの、各種活動時にはハラスメント、流れ弾及び巻き込まれに引き続き注意が必要

5 ジュバ市内の状況 (0 7 2 0 ~ 1 1 0 0)



評 価

市内における全体的な警備強化等の状況は見られなかった。
交通量及び市民の移動は通常通りであり、車両運行には引き続き注意が必要

情 勢 (8 / 8) / Situation

4 気 象 (0600i)

地 域	天 気	気 温		湿 度		降水量	備 考
		最 低	最 高	最 低	最 高		
ジュバ	晴れ	23℃	50℃	22%	58%	0mm	
カンパラ	晴れ	27℃	17℃	42%	78%	0mm	

主要装備品等現況／Equipment Status

31

別紙第4-1

10月14日1300c

区 分	可 動 率	状 況	処 置
火 器	100% ■■■■■	な し	
車 両	100% ■■■■■	な し	
施 設	100% ■■■■■	な し	
通 信	100% ■■■■■	な し	
需 品	100% ■■■■■	な し	
衛 生	100% ■■■■■	な し	
その他		150KVA発電機×2 (逆浸透浄水装置用) オルタネータ不良	部品請求実施 →■■■■■ 整備完了まで予備の220KV A発電機×1を使用

燃料・糧食等現況／Fuel & Ration Status

32

別紙第4-2

10月14日1300c

区 分		品 名	総 数	取 得	返 納	保 管
弾 薬	B L	9mm普通弾				
		5. 5 6 mm普通弾				
		5. 5 6 mmリンク				
	T R	9mm普通弾				
		5. 5 6 mm普通弾				
		5. 5 6 mmリンク				
	計					
打ち殻	9mm打がら薬きょう					
	5. 5 6 mm打がら薬きょう					
計						

燃料・糧食等現況／Fuel & Ration Status

33

別紙第4-3

10月14日1800c

喫食者数：320名（戦力回復33名）

区 分	品 名	取 得	消 費	現保有量	維持日数	備考（処置）
糧食等	個人糧食	戦闘糧食Ⅱ型				
		市販型				
		アルファ米				
		UN非常用糧食				
	耐 久 品	米				
		副食パック				
	UN食材	生 鮮				
		冷凍・耐久				
	現地調達	生 鮮				
		冷 凍				
	そ の 他	加熱剤				
燃 料	COE	UN軽油（発電機）				
	NOE	軽油（調達品）				
		灯油（調達品）				
		ガソリン（調達品）				
水	飲料水					
	海水淡水化装置（浄水）					

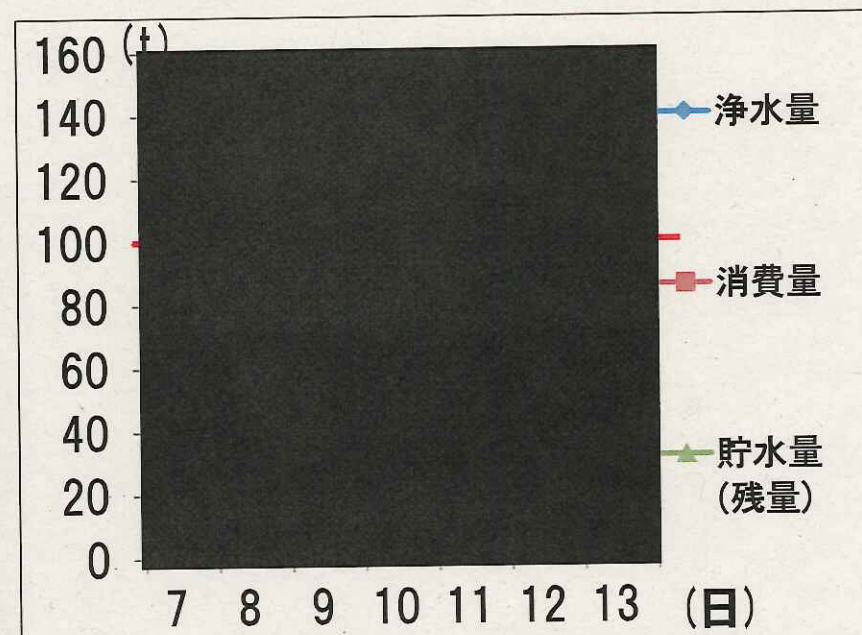
第10種補給品（水）の推移（1週間実績）

10月14日1300c

【H28.10】（10次要員）

凡例 — 消費量の目安ライン

曜 日	浄水量	消費量	貯水量 (残量)
金 7			
土 8			
日 9			
月 10			
火 11			
水 12			
木 13			



他国供給先（前日実績）	供給量
UNハウス	4
トランジット	2
ネパールFPU	
ネパール歩兵中隊	4
エチオピア大隊	
バングラ河川隊	2
インド隊	
合 計	12

【評 価】

○第4井戸の故障復旧後、取水量は安定傾向を保っている。

再度、砂の埋没により故障となる可能性があるため、第5井戸の早期着手により対応(10月18日から構築)

※ 貯水の危険水位:

(注)日々の消費量が を超える日が で続いた場合、貯水量が減少する。井戸の故障状況によっては数日で危険水位を下回る可能性もある。その場合はシャワーや浴槽、洗濯の使用を制限する。

患者受診状況

受診患者計 8 名

10月 13日 1800c
~ 10月 14日 1800c

所属等	傷病者数	疾患名	備考
隊本部	1 名		
本部付隊	1 名		
施設器材小隊	1 名		
第 1 施設小隊	1 名		
第 2 施設小隊	1 名		
第 3 施設小隊	2 名		
派遣警務班	1 名		

凡例： (再) → 再 診

人員現況／Personnel Status

10月14日1800c

	場 所	総員 (名)	事故 (名)	現在員 (名)	事故の内訳 (名)	備 考
第10次要員	ジュバ (UNトンピン)	353	33	320	○国連休暇33名 (10/13~19)	

宿営地待機人員

区 分	人員数
待機人員	

凡例 青字：不在者

活動の分析及び評価

37

別紙第7-1

項 目		兆候上	発生する公算
情 勢	宿营地	流れ弾	9/27, 28, 10/4, 6, 9, 10, 11 近傍での射撃（特に夜間）
	UNトンピン	反UNデモ	9/1 デモ（高官ゲート前及びジョンギャラン霊廟周辺） 9/2~5 安保理代表団来南スーダン（2, 3, 4昼, 5朝ジュバ） 9/15 政府は安保理決議の原則受入承認 9/30 UNMISSとの協力へ大統領が舵取り 10/4 市民団体の地域保護部隊展開への反対
		流れ弾	7/11~昼間の発生なし
		疾病罹患・遺棄物での怪我	9/28 IDPの移送完了されるも天幕等残置
	UNハウス	反UNデモ	9/1 デモ（高官ゲート前及びジョンギャラン霊廟周辺） 9/4 政府は地域保護部隊の受入を承認 9/15 政府は安保理決議の原則受入承認 9/30 UNMISSとの協力へ大統領が舵取り 10/4 市民団体の地域保護部隊展開への反対
		IDPの流入又は侵入	
		流れ弾	
	#1POCサイト	IDPとの小競合い（マシヤル派、タバン派）への巻き込まれ	
		IDPデモ	7/27 食糧と女性の権利要求デモ
	#3POCサイト	IDPとの小競合い（マシヤル派、タバン派）	8/31 #3POCサイトでマシヤル派による平和的デモ 9/17 SPLAのPOCサイトへの侵入
		疾病罹患	7/13 疾病による死者発生、死体放置

活動の分析及び評価

38

別紙第7-2

項 目		兆候上	発生する公算
情 勢	ジュバ市内	ハラスメント及び巻き込まれ	9/30 UNMISSとの協力へ大統領が舵取り 10/12 UNMISSの移動の自由の保証（大統領報道官） 10/12 タバン第1副大統領の帰国（米国） 10/12 大統領の顕在誇示による市民の不安の払拭
		反UNデモ	8/22 地域保護部隊に関する一定の譲歩、米からの資金援助 8/30 高官ゲートでUN介入反対の横断幕 9/1 デモ（高官ゲート前及びジョンギャラン霊廟周辺） 9/4 政府は地域保護部隊の受入を承認 9/15 政府は安保理決議の原則受入承認 9/27 制裁専門家バ 礼報告 9/30 UNMISSとの協力へ大統領が舵取り 10/4 市民団体の地域保護部隊展開への反対
		流れ弾	9/22 夜間のA対地区で10発以上の射撃
	ジュバ～ ・マンガラ ・コダ ・マラム採掘場	戦闘への巻き込まれ	
		ハラスメント 武装強盗への巻き込まれ	

活動の分析及び評価

活 動	敵の可能行動	兆候上	活動評価
宿営地活動	流れ弾		
UNトンピン活動	反UNデモ		
	流れ弾		
	疾病罹患・遺棄物での怪我		
UNハウス活動	反UNデモ		
	IDPの流入		
	流れ弾		
#1POCサイト	IDPとの小競合いへの巻き込まれ		
#3POCサイト	IDPデモ		
	IDPとの小競り合い		
	IDP内の小競合いへの巻き込まれ		
	疾病罹患		

活動の分析及び評価

活 動	敵の可能行動	兆候上	活動評価
ジュバ市内の 活動及び通行	ハラスメント及び巻き込まれ		
	反UNデモ		
	流れ弾		
ジュバ郊外 活動 (ロ)、ラニヤ、 トリ、マナガラ)	戦闘への巻き込まれ		
	ハラスメント		
	武装強盗への巻き込まれ		

総 括

ジュバ市郊外での戦闘は小康状態にあるものの、
が発生しており注視が必要、また、
の常続的かつ単発的な射撃の発生及び銃を携行したSPLA兵士が確認され
るとともに、IDPが火器を保有している可能性は否定できず、巻き込
まれ及び流れ弾が同地域周辺で発生する可能性が高い。

また、
が確認されており、治安の不安定化の要因として注視
が必要

加えて、ジュバ市郊外へ向かう検問所ではSPLAによる通行制限が継
続中であり、移動の自由の撤廃に関する政府発言の履行に実効性は乏しい
ものと思料

さらに、ジュバ市内においては大統領の健在が示されたことで、市民の
不安感は払拭されたものと思料され、パニック等に至る可能性は低いと見
積もられるが、引き続き状況の変化に注視が必要

また、キール大統領が地域保護部隊の早期展開に協力的な姿勢を見せ始
めたものの、市民団体は地域保護部隊の派遣に反対を示しており、対UN
感情の変化には注視が必要

UNトンピン内においては、IDPの遺棄した不審物、疾病への罹患に
引き続き注意が必要であるとともに、マシャル氏がキール政権に対する抵
抗を宣言したことから、ジュバ西部及び南部の戦闘には注視が必要

評 価 (総括)	・ 宿营地内及びUNトンピン内活動は、IDP移動完了に伴う道路整備等において、遺棄物等による怪我、疾病罹患に対する防護が必要 ・ ジュバ市内の移動・活動は、空港・検問によるハラスメントの可能性があるものの、それ以外の地域におけるハラスメントの可能性は低く、各歩兵大隊のパトロール情報及び自隊の経路偵察により、市内状況を確認し、移動時間、移動経路・予備経路の指定など処置が必要 ・ UNハウスにおける活動は、UNハウス西側・南側における射撃事案、流れ弾及びIDPによる投石の可能性があり、処置事項を実施することで活動可能であるが、UNハウス西側における活動は、最近の射撃事案発生個所に比較的近傍であるため、車両による防護準備が必要 また、ジュバ西部及び南部の戦闘の状況及びUNハウス地区近傍における発砲状況によっては、前進時期、活動中止、宿营地への撤収等の統制が必要							
処置・対策	<table border="1"> <tr> <td>IDPとの小競合い</td><td rowspan="6"></td></tr> <tr> <td>疾病罹患</td></tr> <tr> <td>流れ弾対処</td></tr> <tr> <td>IDPデモ対処</td></tr> <tr> <td>SPLA等によるハラスメント</td></tr> <tr> <td>戦闘への巻き込まれ</td></tr> </table>	IDPとの小競合い		疾病罹患	流れ弾対処	IDPデモ対処	SPLA等によるハラスメント	戦闘への巻き込まれ
IDPとの小競合い								
疾病罹患								
流れ弾対処								
IDPデモ対処								
SPLA等によるハラスメント								
戦闘への巻き込まれ								

明日の活動命令 (Operations)

- 1 施設活動等実施に関する活動命令
(方針・指導要領) (Policy & Guidance)
- 2 視察・来隊予定 (Schedules of visitors)
- 3 隊長・副隊長・CSMの行動予定
(CO/DCO/CSM Schedules)

10月15日施設活動等実施に関する南スーダン派遣施設隊活動命令

1 情勢報告参照

- 2 (1) 隊は、急な情勢変化に対応しつつ、文民保護に資する活動としてUNトンピン地区内給水活動を実施するとともに、各種整備を実施し、装備品等の可動率の維持・向上を図る。
また、孤児院の慰問を実施し、南スーダンの将来を担う子供達の成長を支援して、南スーダンの平和と発展に寄与するとともに、日本国への信頼を醸成する。

(2) ア 活動警備レベル（基準）

(ア) UNハウス地区（UNハウス西側及び南側を除く。） レベル [REDACTED]

(イ) UNトンピン地区 レベル [REDACTED]

(ウ) ジュバ市内

c zone 4 （ジュバタウン） レベル [REDACTED]

d zone 5 （ハイシネマ） レベル [REDACTED]

e zone 6 （ハイカトウエスト） レベル [REDACTED]

イ 宿営地警備 [REDACTED]

3 (1) 共通

孤児院の慰問及び各種整備

(2) Eq P t （施設器材小隊）

状況により臨時工兵課タスクの実施

(3) Sec P t （警備小隊）

宿営地警備、同行警備及び [REDACTED]

(4) H Q U （本部付隊）

宿営地維持・管理活動、UNトンピン地区内給水活動及び [REDACTED]

(5) M I S e c （情報班）

ジュバ市内、 [REDACTED] 及びUNトンピン地区における情報収集

(6) G u a r d S e c （警護班）

隊長警護

(7) M P S e c （警務班）

[REDACTED]

活動概要（UNトンピン地区）（1／5）

番号	区分	任務	部隊	時間	場所	人員	車両	警備
①	その他	給 水	補給班	0800～ 0900	トランジット	2	給水車×1	
②	その他	給 水	補給班	0900～ 1000	インド歩兵大隊	2	給水車×1	
③		情報収集	情報班		UNトンピン内			
④		広報活動	隊本部 (広報)	0740～ 1600	UNトンピン内	2	小型×1	

活動概要（UNトンピン地区）（2／5）



③	情報収集
④	広報活動

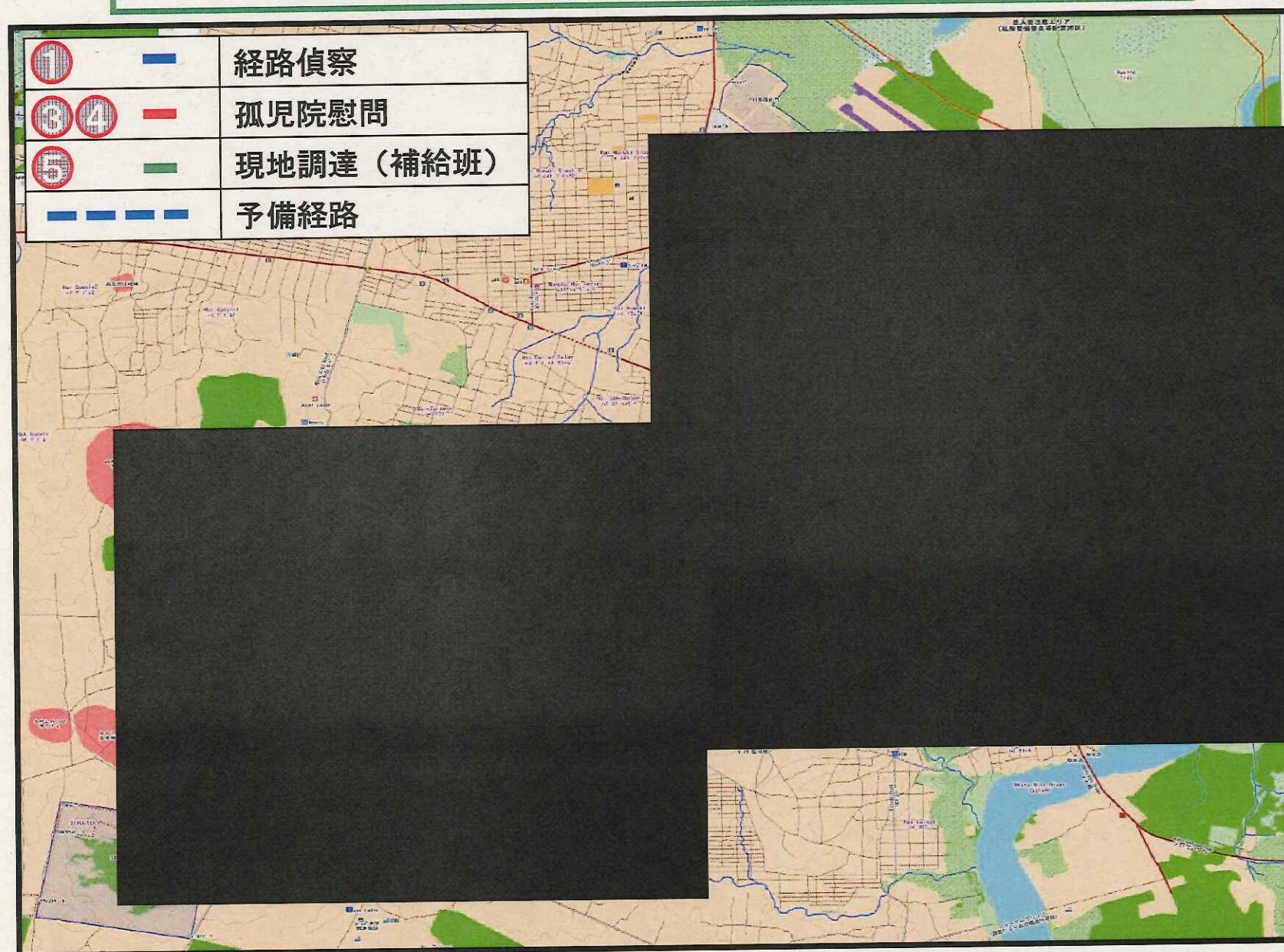
活動概要（UNハウス地区）（3／5）

UNハウス活動部隊なし

活動概要（ジュバ市内）（4／5）

番号	区分	任務	部隊	時間	場所	人員	車両	警備
①	情報	経路偵察	隊本部 (S-2)	ジュバ市内				
②		情報収集	情報班					
③	その他	孤児院慰問	隊本部 各部隊	0900～ 1300	CCC孤児院	20	ランクル×1、高機×2	
④		孤児院慰問視察	隊本部 (S-1) (S-3)	1010～ 1130	CCC孤児院	5	ランクル×1	
⑤		現地調達（補給班）	補給班	0900～ 1200	ジット LA BAGETTO	3	高機×1	
⑥		銀行業務	隊本部 (S-4)	0900～ 1200	ジュバ市内	3	高機×1	

活動概要（ジュバ市内）（5／5）



視察・来隊予定 (Schedules of visitors)

時 間	視察・来隊者	備 考
視察・来隊等予定なし		

隊長、副隊長の行動予定

別紙第10-1

	AM	PM	課業外
隊長			
副隊長			

最先任上級曹長の行動予定

別紙第10-2

	AM	PM	課業外
最先任 上級 曹長			

3 じ後の予定

別紙第11「全般活動予定」

10月 月間業務予定

[illegible]

4 情報共有事項

別紙第 1 2 「連携案件等情報」

連携案件等情報

1 形成中の案件

連番	区分	案件名	ニーズ元	現 状	調整先	調整状況・備考等	評価
1	ODA-PKO 連携案件	職業訓練「#4さくらPJ」	MTC	実施の可否について再検討	MTC JICA	JICAの年内帰国は困難の見通し	
		フリーダムブリッジにおける 作業支援	・JICA ・大日本 土木	CRFにおいて実施の可否に ついて検討中	CRF JICA	CRFにおいて実施の可否を検討中	
2	国際機関等 連携案件	UNOPS水質調査支援 (日本補正予算によるボル河川港 建設PJに伴う水質調査の依頼)	UNOPS (大使館)	工兵課からタスク発出済み	UNOPS (※) (大使館)	UNOPSに状況確認中(現在返信なし)	

※ UN Office for Project Services : 国連プロジェクト・サービス機関)

凡 例 ◎ : タスク化成立 ○ : 自隊による実施 × : 実行の可能性低 ー : 調整中

2 終了案件

連番	区分	案件名	ニーズ元	概 要	実施時期
	ODA-PKO 連携案件	なし			
	国際機関等 連携案件	なし			

5 参考資料

気 象 (14~15日) ジュバ/Weather JUBA

60
最高気温 (1400
まで反映)

気温(直射)	気温(日陰)	湿 度	総雨量
50℃	48℃	22%	0mm



日(曜) Date		1 4 日 (金)		1 5 日 (土)					
時 Hrs		18～21	21～24	0～3	3～6	6～9	9～12	12～15	15～18
主要な活動						孤児院慰問			
						UNの基盤整備			
国連休暇 (7 G p)									
Juba	天 気								
	気温 (℃)	3 4	2 6	2 4	2 3	3 1	3 7	4 0	3 7
	体感気温 (℃)	3 6	2 7	2 5	2 5	3 2	3 9	4 1	3 9
	降水確率	1 0 %	7 0 %	1 0 %	0 %	0 %	0 %	0 %	0 %
	雨 量	0 mm	0 mm	0 mm	0 mm	0 mm	0 mm	0 mm	0 mm
	風 向	南南東	北	北北東	南	南南東	南南東	南東	南南東
	風 速	1	1	1	2	2	1	1	2
評価 Assesment	施設活動								
	行 事								

凡例 影響度: 問題なし < 一部制限 < 実施困難

資料源: WORLD WEATHER ONLINE

気 象 (週間) ジュバ/Weekly Weather JUBA

日 (曜)		1 6 日 (日)	1 7 日 (月)	1 8 日 (火)	1 9 日 (水)	2 0 日 (木)
主要な活動			UNの基盤整備			
		国連休暇 (7 Gp)			国連休暇 (8 Gp)	
Juba	天 気					
	気温 (°C)	4 1 / 2 3	4 1 / 2 2	4 0 / 2 4	4 0 / 2 2	4 1 / 2 3
	降水確率	9 0 %	6 0 %	5 0 %	4 0 %	4 0 %
	雨 量	2 mm	1 mm	3 mm	0 mm	0 mm
	評 価					
Kampala	天 気					
	気温 (°C)	3 2 / 1 5	3 1 / 1 8	3 0 / 2 0	3 1 / 1 9	3 0 / 1 8
	降水確率	9 0 %	9 0 %	1 0 %	1 0 %	1 0 %
	雨 量	0 mm	2 mm	3 mm	2 mm	3 mm

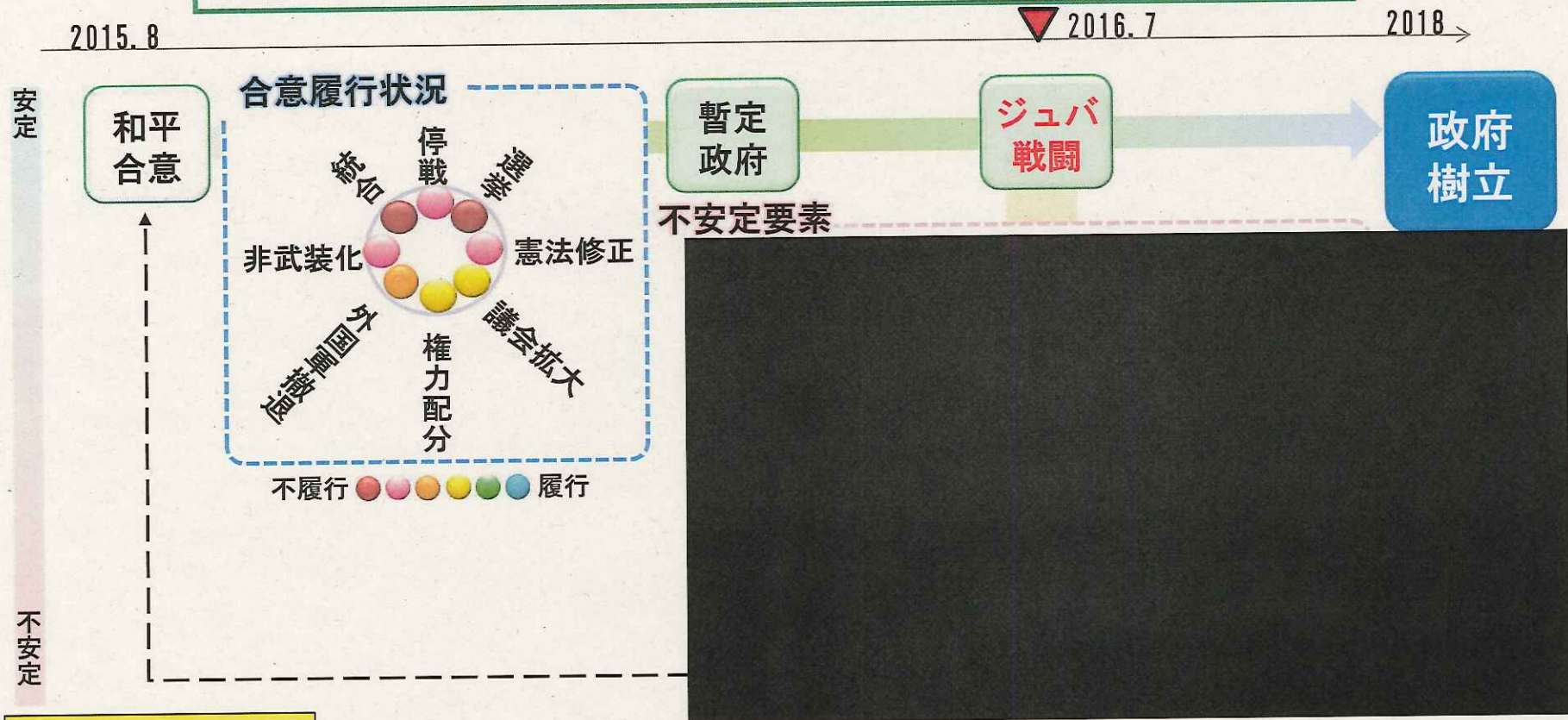
凡例 影響度: 問題なし < 一部制限 < 実施困難

資料源: WORLD WEATHER ONLINE

評 価 Assessment

- 1 ジュバは期間を通じて降雨が予想されるため、一時的に施設作業に影響を及ぼす可能性があり、注意が必要
- 2 ウガンダは期間を通じて降雨が予想され、局所的な降雨に注意

予想シナリオと我に及ぼす影響／Expected Scenario & Effects



我に及ぼす影響

関係悪化モデル

- ジュバでの衝突激化に伴うUN活動の停止
- 武力衝突・[redacted]に伴う、活動の制限
- [redacted]による負傷者発生
- ジュバ市内での大量のIDPの発生
- チェックポイント警戒強化(私の移動制限)
- ウガンダからの物流の停止

和平成立モデル

- 治安改善に伴うUNマンデートの変更
- 少数派による新体制批判デモ
- 非武装化に伴う、市内犯罪の増加
- SPLAと地元住民との係争
- 統合された治安部隊の部族間相互の意見相違による係争

セクターサウス内部状況（2016年10月13日現在）

64



 **エチオピア**
歩兵大隊Ⅰ
(本部:ジュバ)

 **ネパール**
歩兵大隊Ⅱ
(本部:ジュバ)

 **中国**
歩兵大隊 ()
(本部:ジュバ)

 **ルワンダ**
歩兵大隊Ⅰ
(本部:ジュバ)

航空部隊 ()
(本部:ジュバ)

 **日本**
施設部隊
(約350名:本部:ジュバ)

 **バングラデシュ**
施設部隊: (本部:ジュバ)
河川部隊: (本部:ジュバ)

 **カンボジア**
憲兵隊: (本部:ジュバ)
医療部隊: (本部:ジュバ)

 **インド**
歩兵大隊Ⅱ
(本部:ジュバ)

 **エチオピア**
歩兵大隊Ⅱ

 = 増派部隊

 = 後方支援部隊

人員現況（第10次要員）

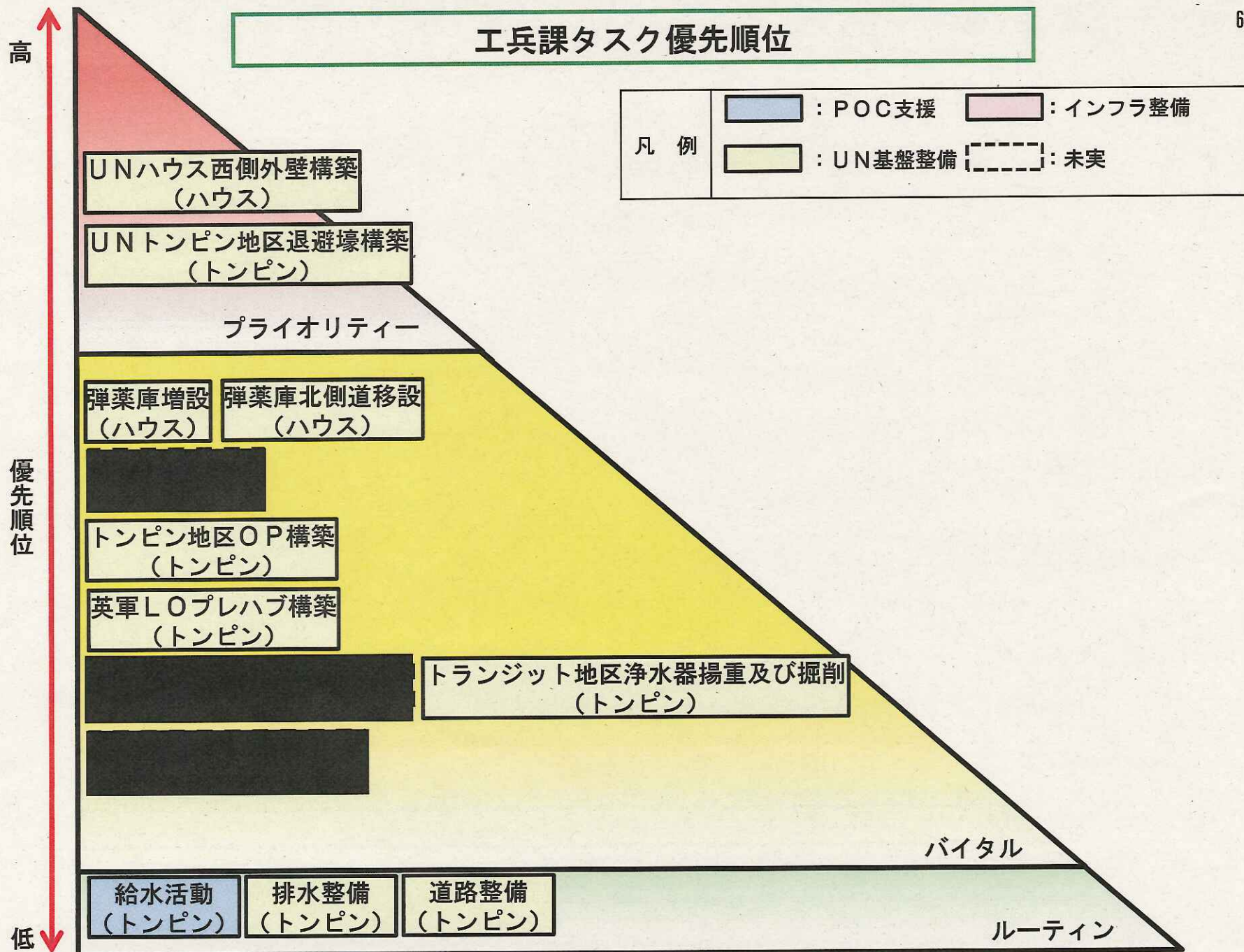
28.10.14
1800c

65

場 所	部 隊		総 員	内 訳			現在員	事故	理由
				幹部 (O)	准曹 (WS)	陸士 (P)			
ジュバ	隊本部							国連休暇 4 名	
	本部付隊	付隊本部						国連休暇 1 名	
		隊本部班						国連休暇 5 名	
		整備班						国連休暇 2 名	
		補給班						国連休暇 3 名	
		通信班							
		衛生班							
		営繕班						国連休暇 2 名	
		施設器材小隊						国連休暇 4 名	
	第 1 施設小隊	国連休暇 3 名							
	第 2 施設小隊	国連休暇 3 名							
	第 3 施設小隊	国連休暇 2 名							
	警備小隊	国連休暇 4 名							
	情報班								
	警護班								
派遣警務班									
合 計			353	65	252	36	320	33	

凡例 赤字：強調 青字：不在者

工兵課タスク優先順位



10月14日タスク等現況(1/2)

67

凡 例 : POC支援 : インフラ整備 : UN基盤整備 : 国際機関等連携案件

1 実施中

タスク No	活動区分	優先 順位	作業名	作業場所	作業内容	本日現在の 進捗状況	開始 時期	終了 時期	昼食の 形態	備 考
487	UN 基盤整備	1	UNハウス 西側外壁構築	UNハウス	ミフラム構築	実施 計画				
492	UN 基盤整備	2	UNトンピン地区 退避壕構築	UNトンピン	退避壕構築	実施 計画				工兵課の指示 待ち
470	UN 基盤整備	3	弾薬庫北側道路移設	UNハウス	道路移設	実施 計画				マラム待ち
469	UN 基盤整備	4	弾薬庫増設	UNハウス	ヘスコ増設 外柵構築	実施 計画				
476	UN 基盤整備	5	トンピン地区OP構築	UNトンピン	ヘスコ構築 屋根構築	実施 計画				工兵課の指示 待ち
503	UN 基盤整備	6	英軍LOプレハブ構築	UNトンピン	プレハブ構築	実施 計画				
505	UN 基盤整備	7	トランジット地区 浄水器揚重及び掘削	UNトンピン	揚重及び掘削	実施 計画				工兵課の指示 待ち
325	POC 支援	8	給水活動	UNトンピン	給 水					
471	UN 基盤整備	9	排水整備	UNトンピン	排 水					
459	UN 基盤整備	10	道路整備	UNトンピン	道路整備					

10月14日タスク等現況(2/2)

68

凡 例



: UN基盤整備

2 未実施

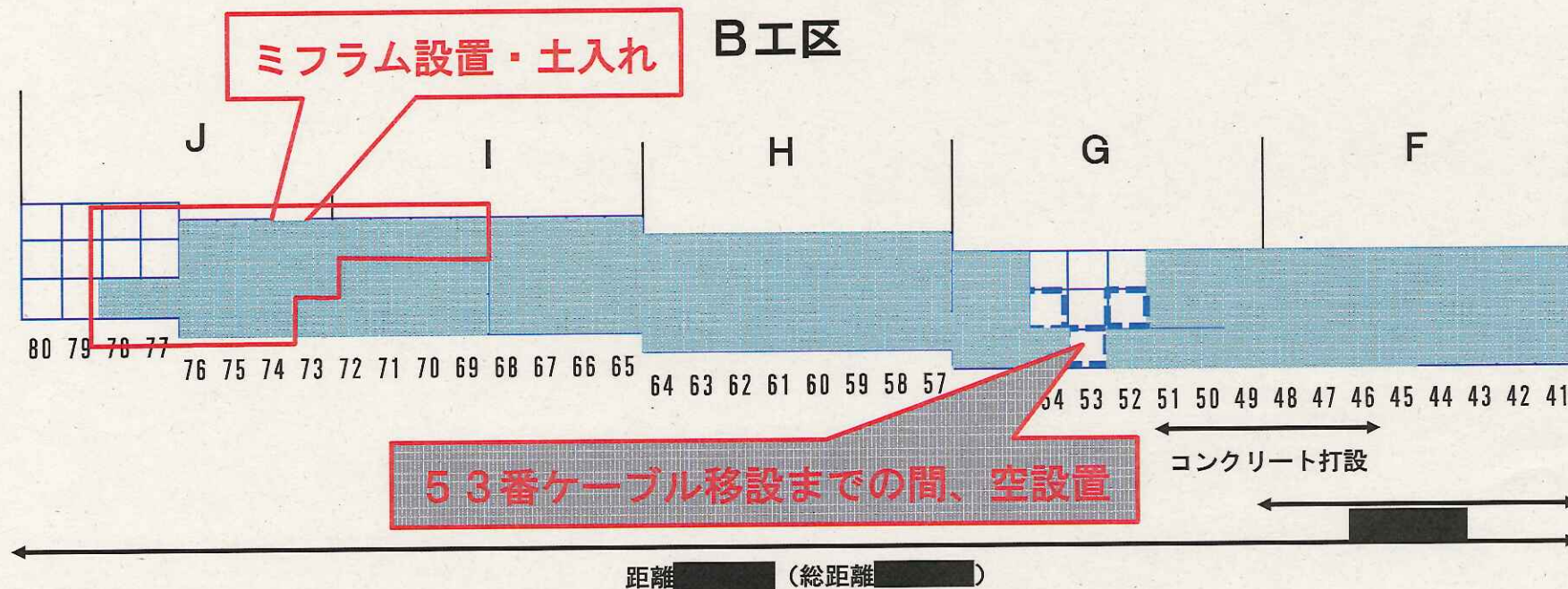
タスク No	活動区分	優先 順位	作業名	作業場所	作業内容	本日現在の 進捗状況	開始 時期	終了 時期	昼食の 形態	備 考
456	UN 基盤整備			UNトンピン						
500	UN 基盤整備			ジュバ市内						
504	UN 基盤整備			UNハウス						

タスク累計受領数(完了数)	タスク実施数(第10次要員)		
505 (489)	プライオリティー	14	
	バイタル	65	
	ルーティン	3	
	計	82	
		完 了	69
		実施中	10
		未実施	3

UNハウス西側外壁構築全体図



UNハウス西側外壁構築（10月14日現在）



凡例

- ミフラム設置
- 型枠設置箇所
- 空ミフラム設置箇所
- コンクリート打設
- 本日作業箇所

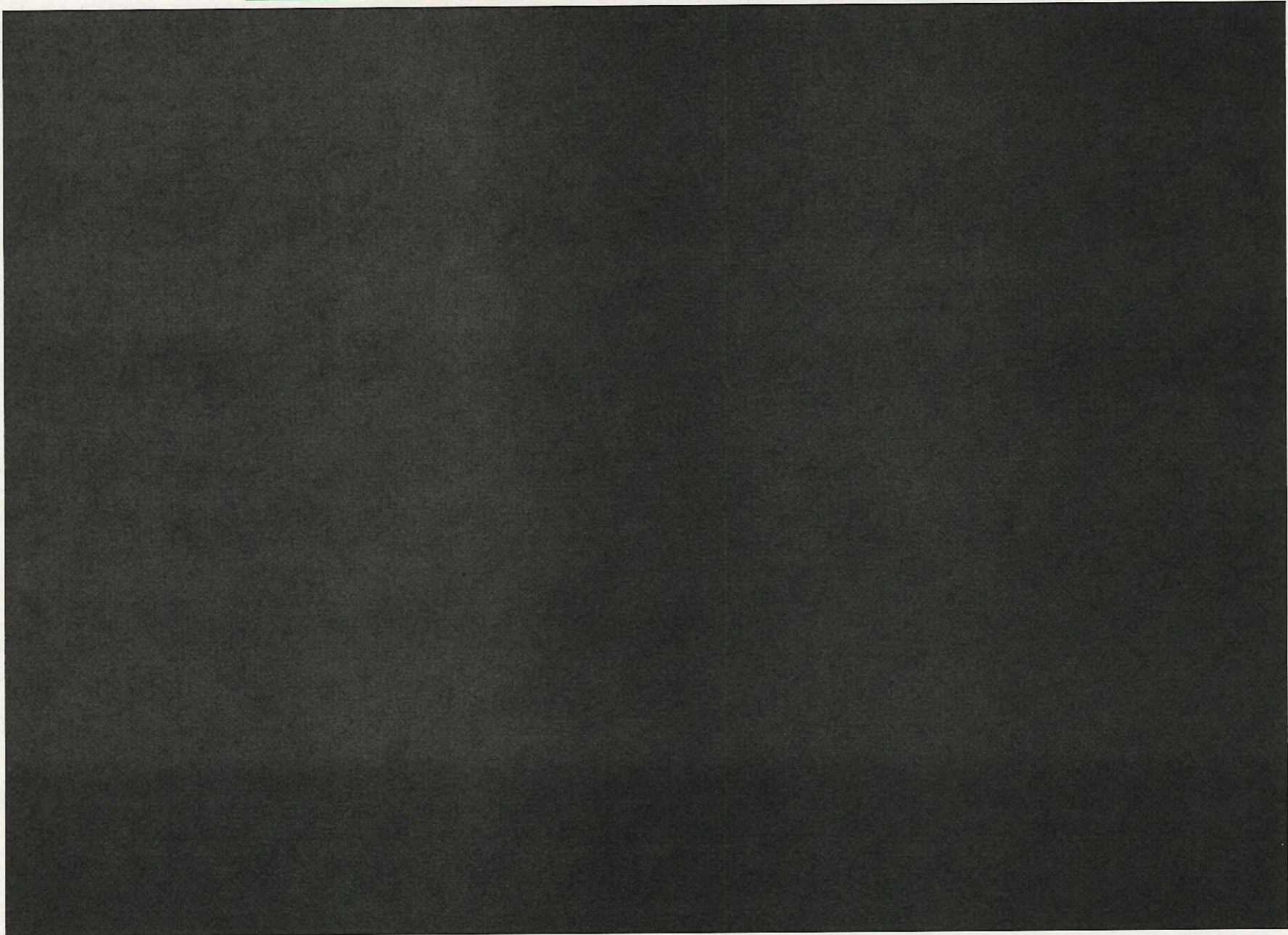
成果

ミフラム設置

コンクリート打設

※ 赤字：作業完了により変更部分

UNハウス弾薬庫増設（10月14日現在）



地域脅威レベル評価（10月15日）

72
2016.10.14

1
レベル

2
レベル

3
レベル

4
レベル

5
レベル

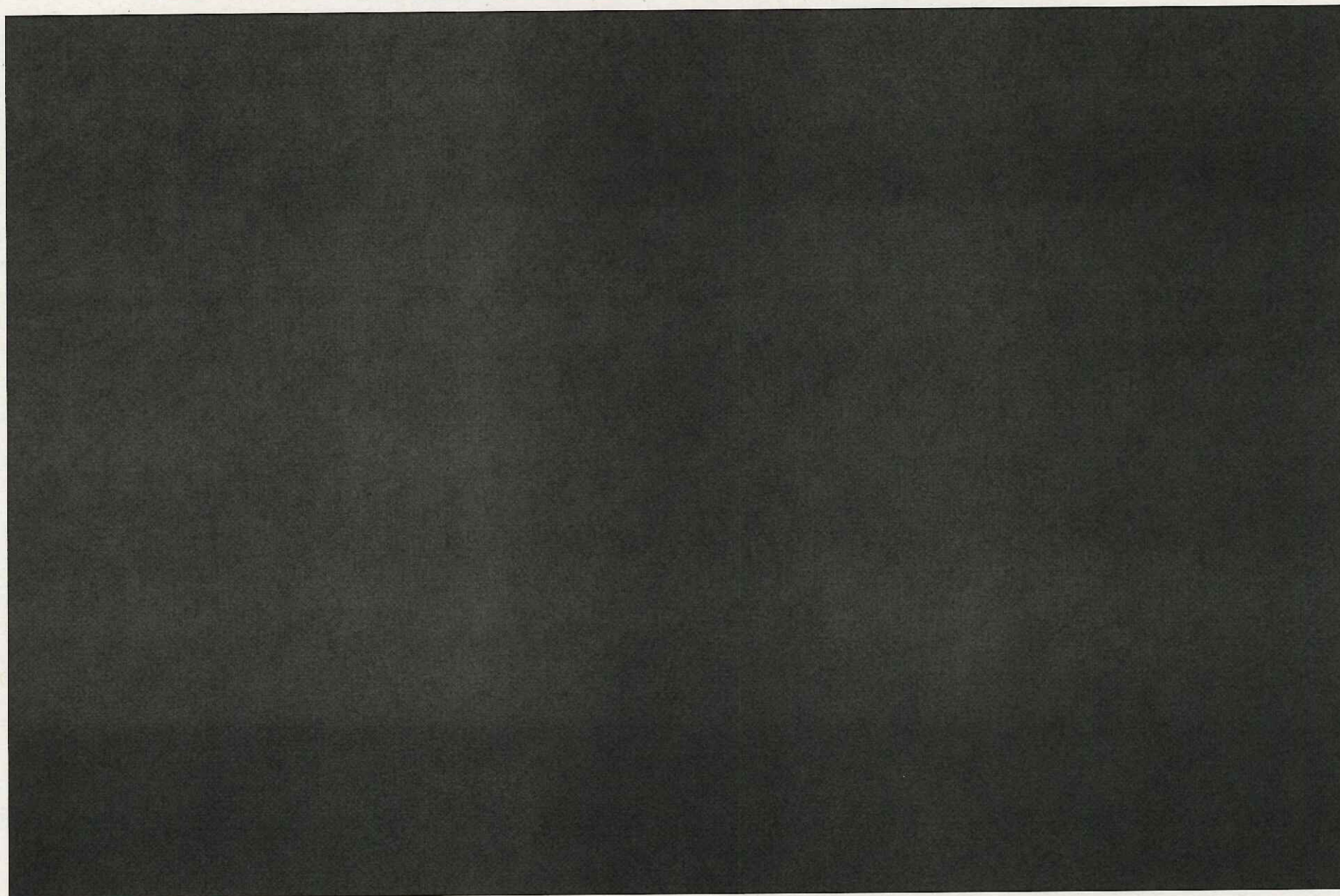
6
レベル

隊員服装・装備等基準

73

区 分	警備小隊	経路偵察に任ずる部隊	活動部隊 (警備、経路偵察除く。)
備考			

警備の態勢  (10月14日1700現在)

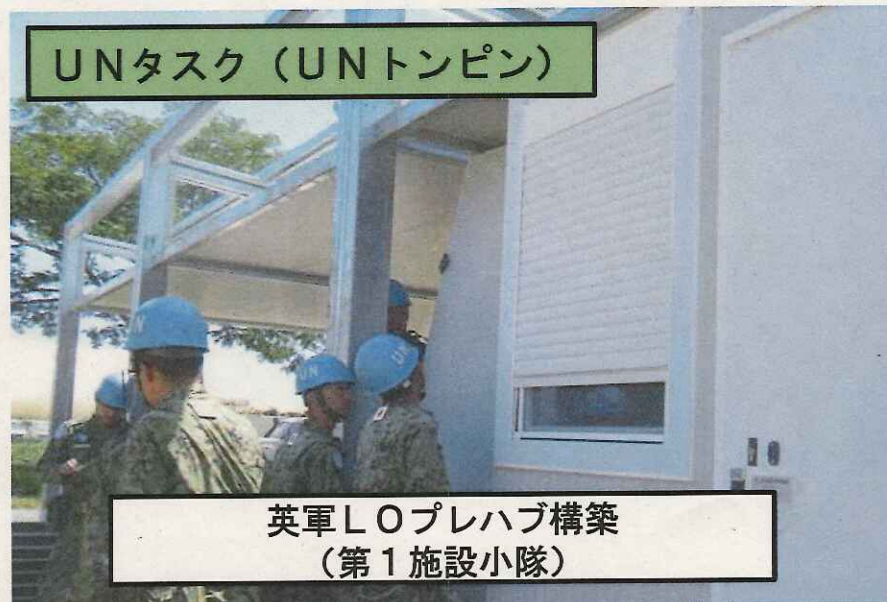


活動写真

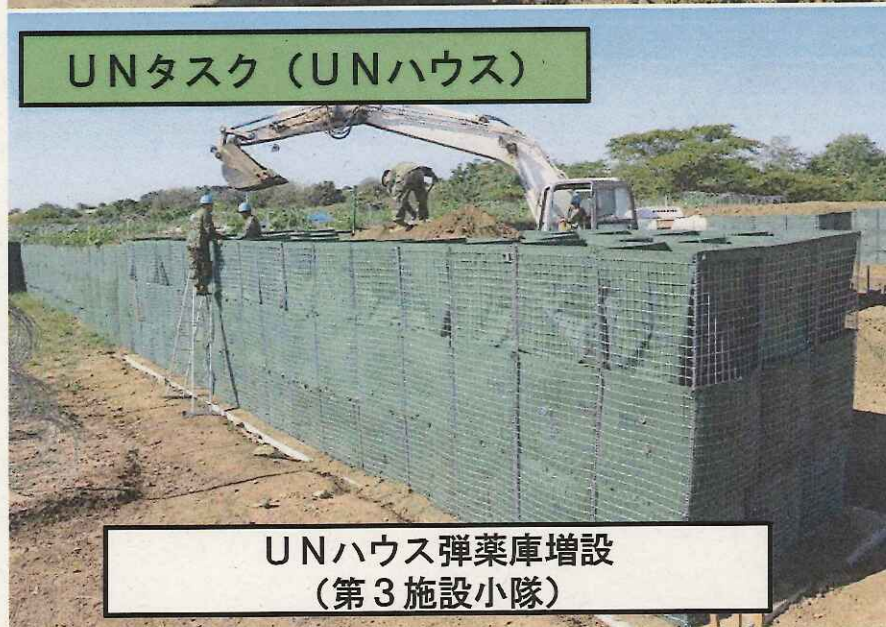
UNタスク (UNハウス)

UNハウス地区西側外壁構築
(第2施設小隊)

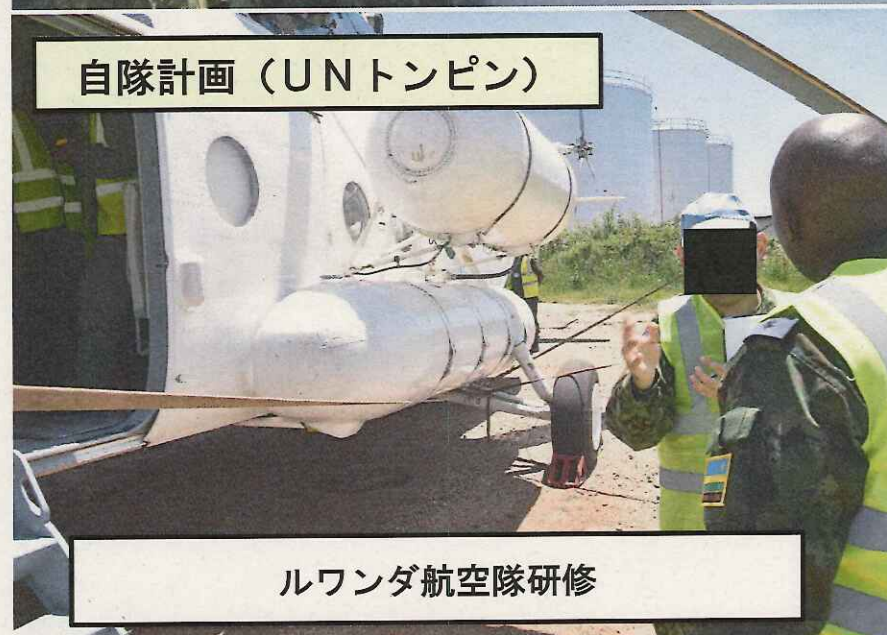
UNタスク (UNトンピン)

英軍LOプレハブ構築
(第1施設小隊)

UNタスク (UNハウス)

UNハウス弾薬庫増設
(第3施設小隊)

自隊計画 (UNトンピン)



ルワンダ航空隊研修